


教育目標 自主 他敬 自愛 創造	内野中だより	内野中HP QRコード 
新潟市立内野中学校だより 令和4年6月3日(金)発行 特別号 新潟市西区内野西1-10-1 電話 025-262-3161 生徒数 1年生256名 2年生274名 3年生239名 計769名(5月31日現在)		

創立 75 周年記念式典特別号

各位

新潟市立内野中学校長 佐藤 靖子

創立 75 周年事業にあたり、PTA 会長、同窓会会長、後援会会長、育成協議会会長、学校運営協議会会長、職員、生徒会代表からなる実行委員会で令和 3 年 12 月から 75 周年記念事業のあり方を審議して参りました。

そこでは、令和 4 年度を創立 75 周年記念の年とすることと、生徒会中心の事業内容とすることが承認されました。本来、5 年区切りの周年事業は開催していないことが多かったのですが、この新型コロナ禍下であるからこそ、子どもたちが、内野中学校の歴史と伝統を重んじながら、令和の新しい時代を元気に切り拓くための価値を見出し、主体的に各行事を運営、実行して欲しいと願い、各学校行事に創立 75 周年の価値を取り入れようと考えました。なお、新型コロナウイルス感染症がまだ収束していない状況と、5 年区切りの周年事業であることを鑑み、大勢の参加は控え、略式でできる範囲内の事業にしていくことも合わせて確認されました。

しかしながら、一つの節目として、創立記念日の 5 月 20 日(金)には、創立記念式典を通常の全校朝会同様に開催させていただき、生徒会が制作した 75 年間の振り返るビデオ上映など、先人の功績に思いを馳せながら、全校生徒で未来を考えるきっかけ作りをいたしました。

同窓会をはじめ、地域の方々へは周年事業の趣旨をお伝えすることが遅れましたこと、深くお詫び申し上げます。これからも、生徒の活躍を様々な媒体で紹介して参りますので、今後とも、内野中学校へのご理解、ご支援を宜しくお願い申し上げます。

式 辞

新潟市立内野中学校長 佐藤 靖子

昭和 22 年 5 月 20 日、内野中学校が創立されました。今、創立 75 周年の節目を皆さんと迎えることができ、大変喜ばしく思います。そして、本日は、ご来賓を代表し PTA 会長 長谷川 真也 様からご臨席を賜り、誠に感謝申し上げます。

この地球上には、現在、約 79 億人の人々が生活しています。それぞれの人生でこのように直接出会えることは、奇跡に近いことです。75 周年を一緒にお祝いができる内野中学校の仲間とは、特に深い縁があると言えます。このご縁、つながりを大切にしていくことが、未来を切り拓いて進む皆さんにとっての「宝」となります。

そして、平成 30 年に新たな教育目標が定められてから早五年。「自主、他敬、自愛、創造」が目指す姿は、誰もが明確に意識し、誰もが理想の自分、理想の内野中学校を創り上げようと前向きに取り組む姿が日々見受けられます。

いよいよ 75 周年を記念する大きな学校行事として、この 5 月には「三川リバーサイドウオーク」秋には「飛翔祭」「輝煌祭」があります。仲間たちとアイデアを出し合いながら、よい行事にしようと懸命に創り上げている姿に誇りを感じます。思う存分、新たな歴史と素晴らしい伝統を刻んでいただきたいと思います。

さて、内野中学校の中庭には、大きな黒松がたくさんそびえ立っています。創立以来、75 年間、内野中学生を見つめ続けた松です。「松樹千



年の翠」という言葉があります。夏の猛暑の中でも、冬の吹雪の中でもその枝や葉を天へと向けて根を佇立^{ちよりつ}しています。それは、確固とした「自分」をもった存在のように感じられます。自分を見つめ、自分の歩む道を探すために、日々の学びがあります。

地域の皆様から支えられ、愛されている内野中学校です。皆さんも地域の一員として、責任ある行動をとり、世の中に貢献できるよう、さらなる躍進に期待をしています。

結びに、創立75周年という節目にあたり、これからも地域と共にある内野中学校の教育を推進して参ります。これまでの保護者、同窓生、地域の皆様からの温かなご支援に感謝をするとともに、皆さまの御多幸を祈念申し上げ、式辞と致します。

来賓祝辞

新潟市立内野中学校 PTA 会長 長谷川 真也

みなさん、おはようございます。

今年度から PTA 会長のお役をいただくことになりました、長谷川真也と申します。PTA を代表いたしまして、一言お祝いの言葉をお伝えしたいと思います。

この度は、内野中学校創立75周年、誠におめでとうございます。一言で75周年と申しましても、今内野中学校に通っている生徒さんの、おじい様、おばあ様と同年くらいの長い年月を経て、その間に様々な出来事が起こり、現在の内野中学校に至っているものと思います。

戦後間もない昭和22年に、内野小学校に併設される形で内野中学校が創立されたとき、内野はまだ新潟市ではなく、西蒲原郡内野町でした。内野の地域は、江戸時代後期に新川を開削して以来、水害を防止するために川を整備したり、稲作を発展させるために田んぼを開発したりすることで発展してきました。また北國街道と呼ばれる、新潟港から弥彦神社までの街道が通過することから、交通の要所としても栄え、独自の文化をはぐくんできました。

さらに、校区には新潟大学五十嵐キャンパスが立地しており、幼稚園・保育園から小学校、中学校、高校、大学に至るまで、地域で連携した教育環境に恵まれています。

中学生生活というとても多感で、将来形成に重要な時期を、この内野中で過ごし、地域の皆様に見守られ育まれて成長することができるということは、とても幸せなことであると考えます。

さて、私自身は11歳になるころに内野地域に参りました。今年でちょうど30年になります。その間、大学や転勤で内野地域を離れる時期もありましたが、やはり常に心の原風景として鮮明に残っているのは、自宅付近の丘から眺める白砂青松と日本海でした。

実は、私自身は内野中学校の卒業生ではないのですが、人数が多くて血気盛んで、部活がとにかく強くて体操服もかっこいい、内野中学校が当時の憧れでした。そして今、子どもが内野中学校に通い、こうしてPTAとして内野中学校の教育活動に携わることができ、とてもうれしく思っています。

近年は新型コロナウイルスの影響で、教育現場はもちろん、子どもたち、大人たちを問わず生活が一変しました。短期間に生活様式が激変するなかで、手探りでも確実に、子どもたちのためにできることを精一杯取り組んでくださる先生方、ご家族の皆様、地域の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

どうかこの先も末永く、子どもたちの健やかな成長の場としてますますの発展をされ、子どもたちがやがて大人になってもこの内野地域に帰ってきて新たな世代をはぐくんでくれることを願ってやみません。私たちPTAも、明日に控えた三川リバーサイドウォークをはじめとした行事活動や、日常生活におけるサポートを通じて、さらなるお力になればと思っております。これからも変わらぬご支援をいただけますよう、心よりお願い申し上げます。

結びになりますが、内野中学校のますますのご発展と、皆様のさらなるご活躍を心より祈念いたしまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

本日は誠におめでとうございます。

